

▶ サージトロンのモードについて

こんにちは！新入社員の中井です！

今日のテーマは「サージトロンのモードについて」です！

バッチリ覚えられるようがんばります！



おはようございます！
今日もよろしくお願いします！



こちらこそよろしくね！
今日はサージトロンの各モードについて勉強します。



色々なモードがありますね！全て覚えられるようがんばります！



各モードの詳細については第8回と第9回で詳しく説明するので、今回はまずイメージをつかみましょう！

モード設定方法



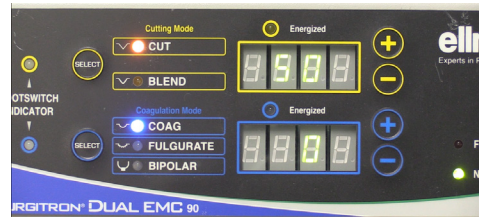
そもそもサージトロンでは何種類のモードがあるのですか？



CUT（純切開）、BREN（混合切開）、COAG（凝固）、FULGRATE（乾燥・凝固）、BIPOLAR（凝固・切開）の5種類です。



実際にサージトロンでどのようにモード設定を行うのでしょうか？



上の画像を見て下さい。黄色の部分が切開モードのエリア、青色の部分が凝固モードのエリアになっています。SELECTボタンでモードを切り替えることができます。



+と-のボタンで出力の設定を行うんですね。



その通りです。+のボタンは長押しで操作することもできますよ。それでは黄色部分の切開モードの種類から見ていきましょう！

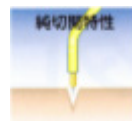
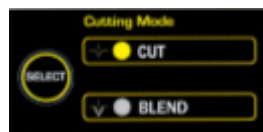
ポイント

【モード設定方法】

- 黄色の部分が切開モードのエリア、青色の部分が凝固モードのエリア
- SELECTボタンでモードを切り替え、+-ボタンで出力の設定ができる。

切開モード

【CUT】

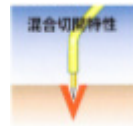


1つ目は「CUT（純切開モード）」です。金属メス以上のシャープで微細な純切開特性があります。



皮膚切開やバイオブシーも可能なんですわね。

【B R E N D】



2番目は「B R E N D（混合切開モード）」です。
出血をコントロールしながら炭化を抑え、熱損傷を最小限にとどめます。



皮膚や筋膜下の組織の剥離に有効なんですね。



切開モードは以上の「C U T（純切開）モード」と「B R E N D（混合切開モード）」の2種類です。



ポイント

【切開モード】

■ C U T（純切開モード）

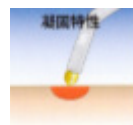
- ・ 金属メス以上のシャープで微細な純切開特性
- ・ 皮膚切開やバイオプシーが可能

■ B R E N D（混合切開モード）

- ・ 出血をコントロールしながら炭化を抑え、熱損傷を最小限にとどめる。
- ・ 皮膚や筋膜下の組織の剥離に有効

凝固モード

【C O A G】

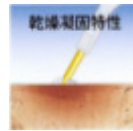


次は青色部分の凝固モードです。
まず一つ目は「C O A G（凝固）モード」です。
焦げのない白く煮えるような凝固特性があります。



ピンポイント止血にも便利なんですね。

【FULGRATE】



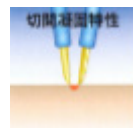
2つ目は「FULGRATE（乾燥・凝固）モード」です。

組織を瞬時に脱水、乾燥させます。表層の組織を破壊する一方、深層に対しては炭化組織による絶縁効果があります。



炭化組織が絶縁層を形成するので、深層への熱影響を遮断するんですね。

【BIPOLAR】



3つ目は「BIPOLAR（凝固・切開）モード」です。

モノポーラによる凝固よりも、高周波熱の拡散を大きくして止血対応力が強化されています。



出力の大小でバイポーラ特性を自在に適用できるんですね。



そうなんです。マイクロ凝固からバイポーラ切開まで可能なんですよ。

以上3つが凝固モードの種類です。



ポイント

【凝固モード】

■COAG

- ・焦げの無い白く煮えるような凝固特性。
- ・ピンポイント止血にも便利

■FULGRATE

- ・組織を瞬時に脱水、乾燥。
- ・表層の組織を破壊する一方、深層に対しては炭化組織による絶縁効果がある。

■BIPOLAR

- ・モノポーラによる凝固よりも、高周波熱の拡散を大きくしており止血対応力が強化されている。
- ・出力の大小でバイポーラ特性を自在に適用できる。
- ・マイクロ凝固からバイポーラ切開まで可能。



モードの種類は以上の5つです！



それぞれモードの特性が違って覚えられるか不安です・・・。



第8回、第9回では実際にRFメスを利用しながらより詳しくモード特性を見ていきますよ！
今回は各モードのだいたいのイメージがつかめれば良いので、安心して下さいね。



まとめ

【モード設定方法】

- 黄色の部分が切開モードのエリア、青色の部分が凝固モードのエリア
- SELECTボタンでモードを切り替え、＋ボタンで出力の設定ができる。

【切開モード】

- CUT（純切開モード）
 - ・金属メス以上のシャープで微細な純切開特性
 - ・皮膚切開やバイオブシーが可能
- BEND（混合切開モード）
 - ・出血をコントロールしながら炭化を抑え、熱損傷を最小限にとどめる。
 - ・皮膚や筋膜下の組織の剥離に有効

【凝固モード】

- COAG
 - ・焦げの無い白く煮えるような凝固特性。
 - ・ピンポイント止血にも便利
- FULGRATE
 - ・組織を瞬時に脱水、乾燥。
 - ・表層の組織を破壊する一方、深層に対しては炭化組織による絶縁効果がある。
- BIPOLAR
 - ・モノポーラによる凝固よりも、高周波熱の拡散を大きくしており止血対応力が強化されている。
 - ・出力の大小でバイポーラ特性を自在に適用できる。
 - ・マイクロ凝固からバイポーラ切開まで可能。



次回は各モードの通電方法について見ていきますよ！



はい！次回もがんばります！

- ▷ 製品に関するお問い合わせは、右のQRコードまたは
<http://www.ellman.co.jp/publics/index/5/> からどうぞ！
- ▷ 第7回目の配信は5月29日、
テーマは「各モード別出力（通電）方法について」です。

